

日本共産党

こんにちはは市会議員
南畑さち代です

No.105
2022.8.7
連絡先
453-7758

和歌山市長選挙で

よしもと昌純氏(無所属新人)を 「自主的支援」します!

日本共産党北部地区委員会は、8月14日告示(21日投開票)の和歌山市長選挙で、無所属新人の前市議、よしもと昌純(まさずみ)氏を「自主的支援」します。

尾花市長からカジノ計画への同意を求められた市議会、5月26日に立候補を表明した際、カジノの是非を問う住民投票を否定した尾花市長の姿勢について「市民の声を聴き、市民本位のまちづくりを目指す」と述べました。同時に「私が市長になれば今後も和歌山市へのカジノ誘致は致しません」と明言しました。国の関係法が存続してい



日本共産党和歌山市会議員
南畑 さち代

る中では、新たな計画が再浮上する可能性があります。吉本氏が将来にわたってカジノ誘致はしないことを明言していることを党は歓迎するものです。吉本氏が、政党の推薦、支持は受けな

6月議会報告

交通網の充実を急げ!

バス路線の廃止や減便が進んでいます。地域バスの要望は地域運営協議会が前提ですが、これでは移動は保障できません。組織横断的な支援を講じ早急な交通網の充実を求めました。



決意を述べる、よしもと昌純氏

聞きたいと思えます。

質) 本格運行に移行する場合、「協議会」設置が必要となります。運賃収入減の場合の地元負担や人的負担も「協議会」に求められる。それがネックとなり本格運行に至らない場合が懸念されます。6月補正の取り組み方針はどうですか。

質) 市内業者の廃業や休業、解散した事業者の現状と認識はどうですか。直接支援をすべきだと考えるかどうか。

コロナ禍での事業者 に直接支援を!

コロナ禍に加え物価高騰等で暮らしや経営は深刻な状況です。国、県、市も支援策を講じていますが不十分です。

市として事業者への直接支援と消費税5%への減税とインボイス中止を国に見上げるべきと求めました。

質) 民間の調査会社の事業者数は8900社。国、県で支援金制度が実施されており、市として事業継続に向けた取り組み等行っています。



裏面に続く……。

質)市として「消費税を5%に」「インボイスの中止」を国に意見を上げるべきだと思いがどうですか。
答)消費税は社会保障経費へ主に充当されており、その税率引き下げを国に求めることは困難です。インボイス制度は、全国市長会において、中小企業や個人事業主など小規模事業者に与える影響等への対応について提言することが検討されているところです。

有功のメガソーラー市、不許可

和歌山市は7月8日付けで、有功地域にメガソーラー建設を計画する合同会社サクシード和歌山に対して、不許可としました。

この計画は2018年12月26日に届け出がありました。が、県はすでに2021年6月3日に林地開発も合わせて不認定としています。市は、太陽光条例の12条(許可の基準)、第2項(市長が許可をしないことができる)第1号(事業計画を実施するために必要な

資力及び信用があると認められないとき)に基づき不許可としました。住民の皆さんが地質の専門家と何度も現地調査し、署名や学習会等で反対運動を展開してきた大成果だと思えます。

市議団、7月20日に新型コロナ感染拡大の緊急申し入れ(第10次)!

①第7波への対策として和歌山市の方針を示して頂きたい。②夜間休日に診察を断られたり、長時間待たされたりするケースが起きている。和歌山市夜間休日応急センターの体制を強化するなど、早急に対処されたい。③有症者は自宅療養とせず、入院か療養施設に入れるように手立てを講じて頂きたい。④やむなく自宅療養となった有症者へ保



7月20日、医療・介護・保健分野の崩壊を避けるため、市に対して「緊急申し入れ書」を提出し、市長公室長・健康局長と懇談を行いました。

太田 比佐子 栗在住

川柳

5首



この空の向こうに戦止まぬ国
 朝刊を読みたし読めぬ まだ戦
 ひまわりの国よ空晴れ子の笑え
 プーチン兜太寂聴ならなんと
 停戦へ握手をすればすむ話

健所からの連絡は遅れないように、保健所体制の拡充を早急に行うとともに、恒常的な職員増に取り組みたい。⑤医療機関・介護施設等へ抗原検査キットを配布して頂きたい。⑥医療機関の判断でPCR検査を行った場合の費用を助成して頂きたい。⑦医療機関・介護施設等にマスク、ガウン、ゴーグル、手袋、消毒液などの感染防止にかかる費用を助成して頂きたい。⑧和歌山市内の医療機関で働く職員に対し、慰労金を支給されたい。⑨陽性者が発生した病院・介護施設

「戦争展」
和歌山市が発祥の地!
 7月24日、1時間だけですが「戦争展」に行きました。そこで、今迄にない衝撃を受けました。

展」の始まりだとのこと。会場入口に紀伊在住の旧陸軍大尉、故・堀岡徹也さんの軍服が提供されていました。関係者が小薮繁喜氏からの軍服の預かり証を発見し、和歌山市開催が判明。小薮真一さん自身もビックリされたそうです。

なんと「戦争展」の発祥の地が和歌山と。しかも小薮真一さんのお父様(小薮繁喜氏)が1975年に「戦争体験を記録する会」を立ち上げ、翌1976年に旧長崎屋(今のシティ和歌山)で「目で見る戦争と私」を開催。これが「戦争



展示会場入り口にて小薮真一氏と「預かり証」を持って。

無料生活法律相談

日時:8月5日(金)午後6時~7時
 会場:河西診療所です。
 申込:南畑さち代まで

無料生活相談

日時:毎週木曜日、午前10時~12時
 (電話での相談は常時行っています)
 会場:南畑さち代生活相談所

Tel. 073-453-3418、453-7758(自宅)
 和歌山市善明寺411-4

相談実施中は看板を出しています

お問い合わせは、南畑さち代まで
 Tel. 073-435-1113(日本共産党市議団室直通)

2022年5・6月の法律・生活相談件数
 紙おむつ支給:2件、生活保護:1件、
 固定資産税:1件、非課税給付金:1件、
 粗大ゴミ:1件、守秘義務:1件、借金:2件、